

第 87 回日本泌尿器科学会東部総会

ダイバーシティ委員会プログラム

(指導医教育コース)

会期 2022 年 10 月 29 日 14 : 40 -

会場 軽井沢プリンスホテル

会長 信州大学医学部泌尿器科学教室 石塚修教授

テーマ ジェンダー平等とプロフェッショナリズム

座長 信州大学医学部泌尿器科学教室 石塚修教授

東京大学医科学研究所附属病院泌尿器科 高橋さゆり

提言

「プロフェッショナリズムとジェンダーのただならぬ関係」

昭和大学医学部泌尿器科学講座 前田佳子

基調講演

「医師のアイデンティティ形成とジェンダー ～誰もがキャリアを重ねられるためのカギがここにある～」

浜松医科大学地域家庭医療学講座 松井智子

一般口演Ⅰ

「最近の医学生のジェンダー・キャリア・ライフワークバランスの意識調査からみる泌尿器科のマーケティング戦略」

筑波大学医学医療系腎泌尿器外科 木村友和

一般口演Ⅱ

「凡人のための仕事術！

～3 人の子供をもつマイナー外科夫婦、サステイナブルな生活を目指して～」

東京大学医学部附属病院泌尿器科 吉田香苗

今年は東部総会最終日、広い第一会場での開催となった。まず JUA ダイバーシティ推進委員会の前田佳子委員よりプロフェッショナリズムとジェンダーの関係についての定義や社会における現状について教育的解説と提言が行われた。

基調講演では家庭医学を専門とされる松井智子先生を招聘し「プロフェッショナル・アイデンティティ形成」についての詳細、現在の問題点、改善策などについて解説いただいた。泌尿器科とは異なり女性医師も多い地域家庭医療学をバックグラウンドとされた松井先生の講演は新鮮であった。

次に一般口演Ⅰとして JUA ダイバーシティ推進委員会の木村友和委員より筑波大学の医学生 823 名を対象として行われた Web アンケート調査の結果報告があった。分析結果から Z 世代を中心とする医学部学生は既存と異なる新しい価値観を持っているという印象を受けた。今後の泌尿器科の発展のために有用な情報を得ることができたアンケート調査だと考える。

最後に一般口演Ⅱとして 3 人の育児をしながらキャリア継続に奮闘している吉田香苗先生より、ご自分の経験を踏まえた仕事と家庭の両立のアイデアの発表があった。現在子育てと仕事の両立に悩む先生方の参考になったことと思う。

現在、組織の発展にダイバーシティ化はかせせないというのが世の中の共通認識となっている。今回はダイバーシティ&インクルージョンを実践していくために有意義なプログラムとなった。日本泌尿器科学会がダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンを根付かせ、ますます充実した学会となっていくことを祈る。

文責 高橋さゆり